

機械器具(21) 内臓機能検査用器具
一般医療機器 胸腹呼吸センサ (70073000)
DC 呼吸センサ

【禁忌・禁止】
＜併用医療機器＞

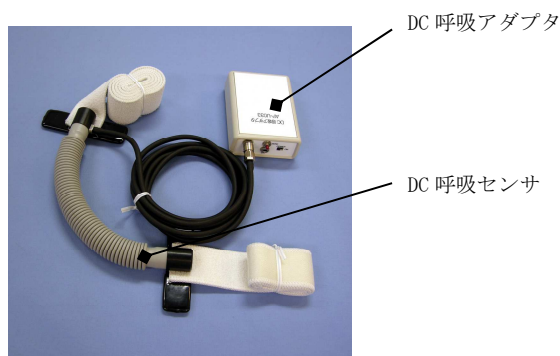
1. 高圧酸素治療器内に持ち込まないこと。[爆発または火災を起こす場合がある。]
2. MRI装置の検査室に持ち込まないこと。[被検者に熱傷を起こす場合がある。また、磁気による吸着の可能性がある。]

【形状、構造及び原理等】

1. 概要

本製品は伸縮により空気圧の変化を検出するセンサである。
胸部又は腹部に装着することにより、呼吸運動の変化を空気圧の変化として検出し、電位変化に変換して、出力するセンサである。多用途測定記録装置や脳波計等に接続されて、測定、収録される。

2. 外観写真



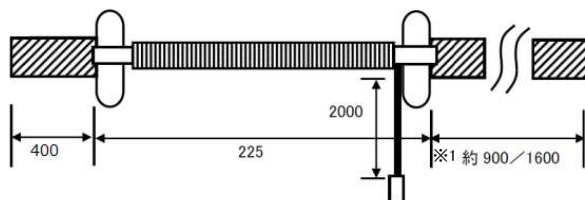
3. 構成

構成は単品又セットで製造及び販売する。
DC 呼吸センサは、伸縮性ベルトの長さにより 2 種類がある。

- (1) DC 呼吸センサ
 - ① DC 呼吸センサ (全長：1.3m)
 - ② DC 呼吸センサ (全長：2.0m)
- (2) DC 呼吸アダプタ
- (3) 付属品 (DC 呼吸アダプタ)
 - ・出力コード (1.5m)

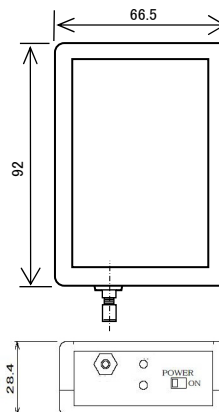
****4. 形状及び寸法**

4-1. DC呼吸センサ

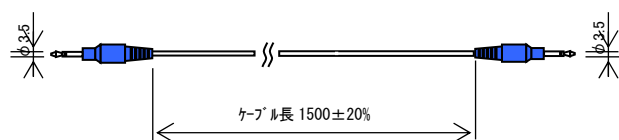


※1 DC呼吸センサ(全長：1.3m)はベルト長が900mm、DC呼吸センサ(全長：2.0m)はベルト長が1600mmである。

4-2. DC呼吸アダプタ



4-3. 付属品 (DC呼吸アダプタ)
・出力コード (1.5m)



単位：mm

記載無き寸法誤差：±10%

5. 作動原理

本製品は患者の胸部又は腹部に装着されたセンサにより呼吸による生体の変化を空気圧の変化量として検出し、呼吸アダプタによりこの空気圧変化を電気信号に変換して電位変化として出力するものである。これらの機能はリアルタイムに処理されるので、胸部又は腹部の呼吸に同期した電位変化として測定することができる。本製品は、DC 信号から検出可能であり、当社の多用途測定記録装置と接続することにより、DC 信号から測定することが可能である。

6. 品番

(1) 単品の場合

品 名	品 番	内容・構成
DC 呼吸センサ	AP-C034-013	全長 1.3m
DC 呼吸センサ	AP-C034-020	全長 2.0m
DC 呼吸アダプタ	AP-U033	出力コード 1.5m

(2) セットの場合

品 名	品 番	内容・構成
DC 呼吸センサセット	AP-C034-013 (S)	AP-C034-013×1 AP-U033×1
DC 呼吸センサセット	AP-C034-020 (S)	AP-C034-020×1 AP-U033×1
DC 呼吸センサセット	AP-C034-033 (S)	AP-C034-013×1 AP-C034-020×1 AP-U033×1

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本製品は、患者の胸部又は腹部の呼吸運動を空気圧の変化として検出し、電位に変換して出力するベルト式のリニューザブルの呼吸センサである。

取扱説明書を必ずご参照下さい

【使用方法等】

1. 使用手順

使用する前に必ず、使用上の注意を読んで下さい。本製品は未滅菌品です。
本製品の標準的使用方法は以下のとおりです。

2. 本製品の患者装着及び使用方法

- (1) 患者の体格に合った長さの DC 呼吸センサを選びます。
1. 3m のタイプと 2m のタイプがあります。
- (2) リクライニングチェア等に座ってもらい、ジャバラセンサ部を胸部又は腹部の上に来るように当てて、シャツの上から患者に巻きつけます。背中でベルト(ファスナ)を固定します。



ジャバラ部の中央が胸部又は腹部の中心に来るように装着します。

注意：この時、ジャバラが弛まないように注意します。

- (3) 本センサが患者の体にフィットする様に調節します。但し、ベルトを過剰にきつく締め付けしないで下さい。ジャバラが弛まない状態で、手がベルト入る程度に調整してください。
- (4) DC 呼吸センサの空気圧出力ケーブルを DC 呼吸アダプタの空気圧入力コネクタに差し込みます。
- (5) DC 呼吸アダプタの出力コネクタと多用途測定記録装置や脳波計の信号入力コネクタ間を指定のケーブルで接続します。

注意：接続に先立って、多用途測定記録装置や脳波計の取扱説明書を読んでください。

3. 清浄方法

- (1) DC 呼吸センサをエタノール等で清浄し、乾かします。
このとき呼吸センサを液体に浸さないで下さい。
注意：呼吸センサ及び呼吸アダプタを液体に浸さないで下さい。故障の原因となります。
注意：清浄するために漂白剤を使用しないで下さい。本品は滅菌することは出来ません。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・本製品は診断用としてだけに使用するものです。無呼吸モニター用や、生命維持用あるいは延命用のセンサではありません。
- ・擦り切れ又は損傷を受けたコネクタやケーブルを使用しないこと。
- ・被検者に装置の金属部、接地アースに触れさせないこと。
- ・被検者に対して、測定中に異常を感じた場合には直ちに測定者又は医師に申し出る様に指導すること。

＜相互作用（他の医薬品・医療機器との併用に関する事）＞

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医用機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療器	装置内に持ち込まないこと	爆発または火災を起こす場合がある。
MR I 装置	検査室に持ち込まないこと。	熱傷を起こす場合がある。また、磁気による吸着の可能性がある。

2. 相互作用（併用注意：併用に注意する）

- ・本装置に接続する機器、部品は弊社の指定する装置、部品を使用すること。

＜その他の注意＞

- (1) 本製品を保管するときには、次の事項に注意して下さい。
 - ・常温、常湿で、直射日光が当たらない暗部な場所に保管して下さい。
 - ・DC 呼吸センサを結露させないで下さい。
 - ・DC 呼吸アダプタには、電池 (006P) が装着されています。長期間使用しない時はアダプタから電池を取り出して下さい。電池の液漏れにより、故障の原因になります。
- (2) 本製品の使用にあたって次の事項に注意して下さい。
 - ・測定を始める前に DC 呼吸アダプタの電池を確認して下さい。電池容量が少ない場合は、新品の電池に交換して下さい。
- (3) 本製品の取扱いは、次の事項に注意して下さい。
 - ・ジャバラセンサ部に物理的な圧力を加えないで下さい。
 - ・DC 呼吸センサの出力コネクタは、測定機器の指定された入力コネクタにしっかり接続してください。
 - ・本製品を DC 呼吸アダプタから外す時は、コネクタ部をしっかりと持って静かに引き抜いて下さい。
 - ・ケーブルやストラップを持ち、強く引っ張ってコネクタを引き抜くようなことをしないでください。ケーブルが破損する場合があります。
- (4) 使用後は、本製品の清掃を行って下さい。
 - ・滅菌等は行わないでください。
- (5) 廃棄
 - ・施設の廃棄規定に基づいて行なって下さい。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

次の場所に保管して下さい。

- ・水のかからない場所。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分。を含んだ空気等により悪影響の生ずるおそれのない場所。
- ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない場所。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生しない場所。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：株式会社ミユキ技研

TEL：03-3818-8631

FAX：03-3818-8632

製造業者

名称：株式会社ミユキ技研